

レイ ホク マチ

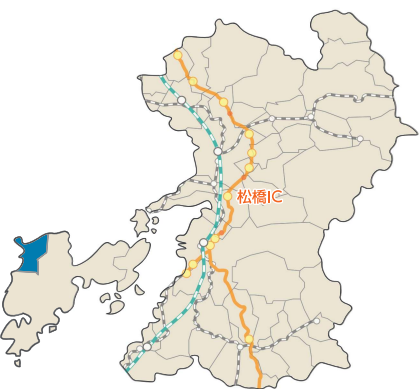
苓北町

総人口…6,364人 男…3,084人 女…3,280人 世帯数…2,635世帯
（人口構成比） 15歳未満…9.0% 15～64歳…44.1% 65歳以上…47.0%
※データは令和7年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



山崎 秀典 町長

苓北町では、人口減少・少子高齢化が顕著となり、産業における担い手の不足や地域コミュニティの衰退など、様々な課題に直面している中で、地域が活性化し発展していくためには、先ず地域を支える人づくりが大切です。「人が輝き 地域が輝く まちづくり」を目指し、町の産業を担う人づくり、町の未来を担う人づくり、そして町を興す人づくりを政策の柱としながら、職員一丸となって新たな苓北づくりに挑戦してまいります。



- 寄附御礼
- ・贈呈式開催（首長出席、寄附額10万円以上）
・感謝状贈呈（寄附額10万円以上）
・功労者表彰推薦 紺綬褒章推薦 ・その他

・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1

カテゴリー6 観光客の誘致・地域PR

苓北町の知名度向上に向けた取り組みの強化

本町はこれまで、広報紙発行による町内向けの広報活動や、町外向けの町の観光資源や農産物・水産物を活用した観光PR活動といった個々の施策を展開してきましたが、いわゆる統合的な広報活動やマーケティングといった自治体プロモーションができていない現状です。そのため、苓北町の知名度も低く、交流人口・関係人口の拡大が急務となっています。



福岡半島から見た苓北町

2

カテゴリー4 児童福祉

子育て支援の充実

出生数の減少傾向は変わらず、今後、若年者人口の減少が見込まれます。また、核家族化の進行や地域とのつながりが希薄化するなど、子育ての孤立や家庭・地域における子育て力の低下が課題となっています。



子育て支援センターを利用する児童

デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期苓北町まち・ひと・しごと創生総合戦略

人が輝き地域が輝くまちづくり

- 基本目標1

地域資源を活かした魅力あるしごとをつくる事業

地域の発展を支える産業の活性化と担い手の確保、地域資源を活かした魅力ある雇用を創出します。
- 基本目標2

新しいひとの流れをつくる事業

様々な場面で関係人口を創出・拡大し、移住・定住の強化に取り組みます。
- 基本目標3

町民が結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境を整備する事業

結婚・妊娠・出産を希望する町民の希望をかなえ、子育てしやすい環境を整備します。
- 基本目標4

町の知名度を向上させ、安心して快適な、魅力あるまちをつくる事業

町民が安心して暮らしつづけるまちづくりを推進し、町の知名度向上への取り組みや特色ある教育を推進するなど魅力あるまちをつくります。

重点プロジェクト

町の知名度を向上させ、安心して快適な、魅力あるまちをつくる事業

〈SDGs〉関連するゴール

11 住み続けられるまちづくりを

総事業費	— 寄附目標額 —
数値目標	●移住・定住イベントでの接点数 …… 200人(令和5年度:実績なし)

本町はこれまで、広報紙発行による町内向けの広報活動や、町外向けの町の観光資源や農産物・水産物を活用した観光PR活動といった個々の施策を展開してきましたが、いわゆる統合的な広報活動やマーケティングといった自治体プロモーションができていない現状です。そのため、苓北町の知名度も低く、交流人口・関係人口の拡大が急務となっています。今後は、苓北町の知名度とブランド力を協力で向上させるような、統合的な自治体プロモーションを推進していく必要があります。



寄附の具体的なメリット

寄附による法人のイメージアップや認知度向上はもちろん、寄附に伴う町の認知度向上に係る施策に充当することで、町の知名度アップに寄与することはもちろん、まちの活力アップに繋がります。また、寄附を通じた地方創生への貢献と共に、苓北町や住民との関係構築に繋がります。

寄附申出書の事業名選択時は「町の知名度を向上させ、安心して快適な、魅力あるまちをつくる事業」を選択してください。

重点プロジェクト

町民が結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境を整備する事業

〈SDGs〉関連するゴール

1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに

総事業費	— 寄附目標額 —
数値目標	●苓北町子育て支援センターの利用者数 ……………1,800人(令和5年度:1,339人) ●イベントでのカップリング数 …… 5組(令和5年度:2組)

町の年間出生数は、令和元年度から令和4年度にかけては約20～30人台で推移していました。しかし、令和6年度は18人と急激に減少しています。

町の子育て支援については、令和7年度から令和11年度までを計画期間として「第3期苓北町子ども・子育て支援事業計画」を策定しており、本計画をもとに事業を推進してきているところですが、町における婚姻数や子どもの出生状況が大きく変わっており、少子化は一段と厳しい状況となっており、今後、若年者人口の減少が見込まれます。



寄附の具体的なメリット

寄附による社会貢献を通じた法人のイメージアップや認知度向上はもちろん、寄附による町政の様々な子育て支援に関する施策に充当することで、地方の若年層の人口減少に歯止めをかけるとともに、まちの活力アップに繋がります。

寄附申出書の事業名選択時は「町民が結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境を整備する事業」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。